

「今求められる教員の人権意識」

今年度も引き続き、弁護士の間哉直人（せきや なおと）氏をお迎えしての研修会を実施することができました。テーマは「今求められる教員の人権意識」。講演会や事例検討のグループワークを通して、御指導、御講評をいただきました。

講演会では、「事案から見る尊厳、尊厳から見る日常」と題し、事案及び調査結果（概要）をお聞きしました。事案発生後の対応の問題点と要因の考察を教えてください、その後どうすれば良くなるか提言をしていただきました。一つ一つの出来事を、時間を追って確認し、どういう視点で考えたり対応したりすればよいのかを学ぶことができました。

事例検討では、身の回りで起こりやすい例を挙げ、異なる学部や学年の職員と意見を交わしながら問題点やより良い対応の仕方を出し合いました。各グループの発表を受けて講師から学校の外からの視点、福祉関係での視点など様々な角度からの御提言をいただきました。また、多くの職場で行われている「ヒヤリハット」もよいが、「ほっともっと」（他の人が支援した良いもの、ほっとした支援。もっところの方が良いかなという対応。）を記録としてとっていくというのも良いのではないかというアドバイスもいただきました。

今後も本研修の成果を生かし、児童・生徒が心健やかに、より良い成長ができるよう教職員一同努めてまいります。

